



京都産業大学のシンボルは、サギタリウス(射手座)。

ギリシャ神話に登場する賢者ケイロンが大宇宙を駆け巡る姿をかたどった星座は、
世界へ雄飛する若者への希望を表しています。

〈 交通案内 〉

発展した母校のキャンパスをお訪ねください。
アクセスは、とても便利になっています。

**JR「京都駅」または阪急「烏丸駅」経由
地下鉄烏丸線からのルート**

- ①「国際会館駅」を下車、京都バスで「京都産業大学前」下車。
- ②「北大路駅」を下車、市バスで「京都産大前」下車または、京都バスで「京都産業大学前」下車。

京阪「出町柳駅」からのルート

- ① 京都バスで「京都産業大学前」下車。
- ② 叡山電鉄・鞍馬線で「二軒茶屋駅」下車、無料シャトルバスで約5分(シャトルバスは休校日運休です)。

Keep Innovating.
京都産業大学
2015年、50周年を迎えます

経済学部 経営学部 法学部 外国語学部 文化学部 理学部 工学部 コンピュータ理工学部 総合生命科学部

発行：京都産業大学 総務部校友担当 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 TEL.(075)705-1408

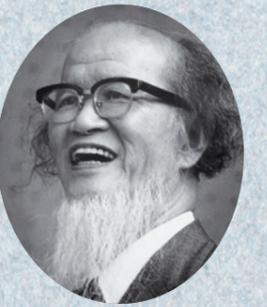
<http://www.kyoto-su.ac.jp/>

京都産業大学

神山の絆

vol.3

学長メッセージ	1	キャンパスの今昔	8
京都産業大学 沿革	2	神山祭レポート	9
学歌・応援歌	2	キャンパスフラッシュ	11
外国語学部学科再編・大学院 生命科学研究科開設	3	サギタリウス人 活躍する卒業生	13
文化学部 京都文化学科開設(設置申請中)	4	同窓会支部の紹介	14
むすびわざNEWS	5	同窓会館のご案内	14
創立50周年記念事業募金	6	生涯学習 むすびわざ講座の紹介	14
サギタリウスNOW 中央図書館	7		



創設者・初代総長
荒木 俊馬

- 1965(昭和40)年4月 京都産業大学開学 経済学部・理学部
- 1967(昭和42)年4月 経営学部・法学部・外国語学部開設
- 1969(昭和44)年4月 理学部に応用数学科増設
大学院経済学研究科(経済学専攻)・理学研究科(数学専攻・物理学専攻)修士課程設置
- 1970(昭和45)年4月 法学専攻科開設
- 1971(昭和46)年4月 理学部応用数学科を「計算機科学科」に名称変更
外国語専攻科開設
大学院経済学研究科と理学研究科に博士課程設置
- 1972(昭和47)年4月 大学院法学研究科(法律学専攻)修士課程設置
- 1974(昭和49)年4月 大学院法学研究科に博士課程設置
9月 法学専攻科廃止
- 1977(昭和52)年4月 大学院外国語学研究科(中国語学専攻・言語学専攻)修士課程設置
学校法人京都産業大学すみれ幼稚園開園
- 1989(平成元)年4月 工学部開設
- 1993(平成5)年 4月 大学院工学研究科(情報通信工学専攻・生物工学専攻)修士課程設置
- 1995(平成7)年 4月 大学院工学研究科に博士課程設置
- 2000(平成12)年4月 文化学部開設
- 2002(平成14)年4月 大学院マネジメント研究科(マネジメント専攻)修士課程設置
- 2003(平成15)年4月 理学部数学科、物理学科、計算機科学科をそれぞれ数理科学科、物理科学科、コンピュータ科学科に名称変更
- 2004(平成16)年4月 大学院法務研究科(法科大学院)設置
大学院マネジメント研究科に博士課程設置
- 2005(平成17)年3月 外国語専攻科廃止
4月 大学院外国語学研究科(英米語学専攻)修士課程設置
- 2007(平成19)年4月 経営学部ソーシャル・マネジメント学科、会計ファイナンス学科増設
大学院経済学研究科(通信教育課程)設置
学校法人京都産業大学附属中学校・高等学校開校
- 2008(平成20)年4月 コンピュータ理工学部開設
外国語学部国際関係学科増設
- 2009(平成21)年4月 法学部に法政策学科増設
大学院マネジメント研究科にコーポレート・コミュニケーション・コース設置
- 2010(平成22)年4月 総合生命科学部開設
- 2011(平成23)年4月 大学院先端情報学研究科(先端情報学専攻)修士課程設置
- 2012(平成24)年4月 むすびわざ館(壬生校地)開設
附属中学校・高等学校壬生校地へ移転
- 2013(平成25)年4月 大学院法学研究科(法政策学専攻)修士課程設置
大学院先端情報学研究科に博士課程設置
9月 理学部コンピュータ科学科廃止
大学院工学研究科(情報通信工学専攻)廃止
- 2014(平成26)年4月 外国語学部学科再編(英語学科、ヨーロッパ言語学科、アジア言語学科、国際関係学科の4学科体制)
大学院生命科学部研究科(生命科学専攻)修士課程設置



同窓の方々の 熱い思いに寄せて

学長
藤岡 一郎



今井同窓会会長のもと同窓会支部の設立が相次いだ昨年でした。同窓会の輪がさらに大きく充実しつつあることに慶賀の念を表します。「神山の絆」で結ばれる同窓の方々がご清祥ですますご活躍の証であり、同窓の輪がひろがりつつあるのを実感しています。本当にありがたいことで、日頃の同窓の方々の本学への深いご理解と力強いご支援に衷心より感謝申し上げます。

さて、一昨年、本学の創立50周年に当たる2015年に向けて、スローガン「Keep Innovating.」のもと、次の展望を見据えた助走のスタートを切りました。

昨年に引き続き、科研費などを含む外部資金獲得も増加し、「グローバル人材育成推進事業」を含め5件の文科省の採択事業も教職員の日ごろのご尽力もあって順調に進捗しており、また学生諸君の自主的な活動も活発になっています。学生の課外活動においては、今年度もスポーツや文化活動において徐々に成果をだしつつあると思っています。もちろんその支えになっているのは言うまでもなく同窓の方々の熱い応援であります。

現在の大学はその在り様が問われ、京都産業大学もまたその在り様が問われていますから、建学の精神に立ち返り、そのDNAを継承し、研究力、教育力そして社会貢献力においてさらに飛躍を遂げて社会の付託に応え得る必要があります。それに挑戦する本学の構成員のこの日頃の弛まぬ研鑽に感謝し、この潮流を絶やさないうちに充実したものとしたいと思っています。

2014年度は次期基本計画の策定作業が本格化し、2030年以降のさらなる激変の時代に耐えうる大学であるために、確固としたアクションプランをつくりあげる必要があります。それと並行して日々、長期的視点で挑戦し、創造的に

展開し、昨年の成果の量的充実とともにによりその質的充実の強化に今年も傾注しなければなりません。インフラの整備はハードとともにソフト面での充実が喫緊の課題です。たとえば、学生諸君が海外へ出かける機会が格段に増加するに従いソフト面の費用は莫大になり、これまで以上に奨学制度の拡大と内容の充実が必要になります。いうまでもなく、人材育成を使命のひとつとする大学において、本学で学ぶ意欲のある学生を挫折させてはならないし、優れた学生はさらに頑張ってもらいたい思いは、同窓の方々の思いだと思います。創立50周年の募金事業はその思いでみなさまにお願いしているところで、寄せられた浄財をもとにほぼ100パーセント奨学金として活用いたします。

この2年余同窓会支部訪問など事あるたびに、このような思いを持つ多くの同窓の方々とお会いいたしました。ある方がおっしゃいました。「一年に一人が一万円の寄付で10億円を超える募金額になり、10年でざっと100億円になる。一年に数回の呑み代をみんなで節約しようじゃないか」と。13万を超える同窓の方々がいるということの量り知れない支えと力強い励ましを受けた思いでした。京都産業大学の後継者を共に育成することによって「オール京都産業大学の構成員の循環の輪」は、さらに強固に繋がっていくのだと思います。これまでも本学の使命達成のために卓越したご貢献をなさった同窓のみなさまに改めて感謝し敬意を表するとともに、本学の思いに今後もご理解とご協力を衷心よりお願い申し上げます。

この「神山の絆」誌がこの「オール京都産業大学の構成員の循環の輪」をさらに充実する一助になればと願っています。

京都産業大学応援歌

一 魔王の怒(い)かりか吹きすさぶ
鞍馬風(おろし)のただ中を
縦横無尽に馳(は)せめぐる
若人(わこう)の意気(いき)いや高し
産大 産大 京都産大
京洛(みやこ)の誇(ほ)こり 京都産大

二 都(みやこ)のかすみ蹴(やぶ)りて
たけり狂える逆敵(さかてき)を
鍛え鍛えし鉄腕(てつうでん)に
くだきすうべき時は来ぬ
産大 産大 京都産大
京洛の護(まも)り 京都産大

三 あまたの傷(きず)にたえかねて
豪敵(ごうてき)ついに倒(た)れたり
かたせ血染めの大旗(おほはじ)を
あげよかちどき高らかに
産大 産大 京都産大
京洛の王者 京都産大

京都産業大学学歌 荒木俊馬作詞 園作彦作曲

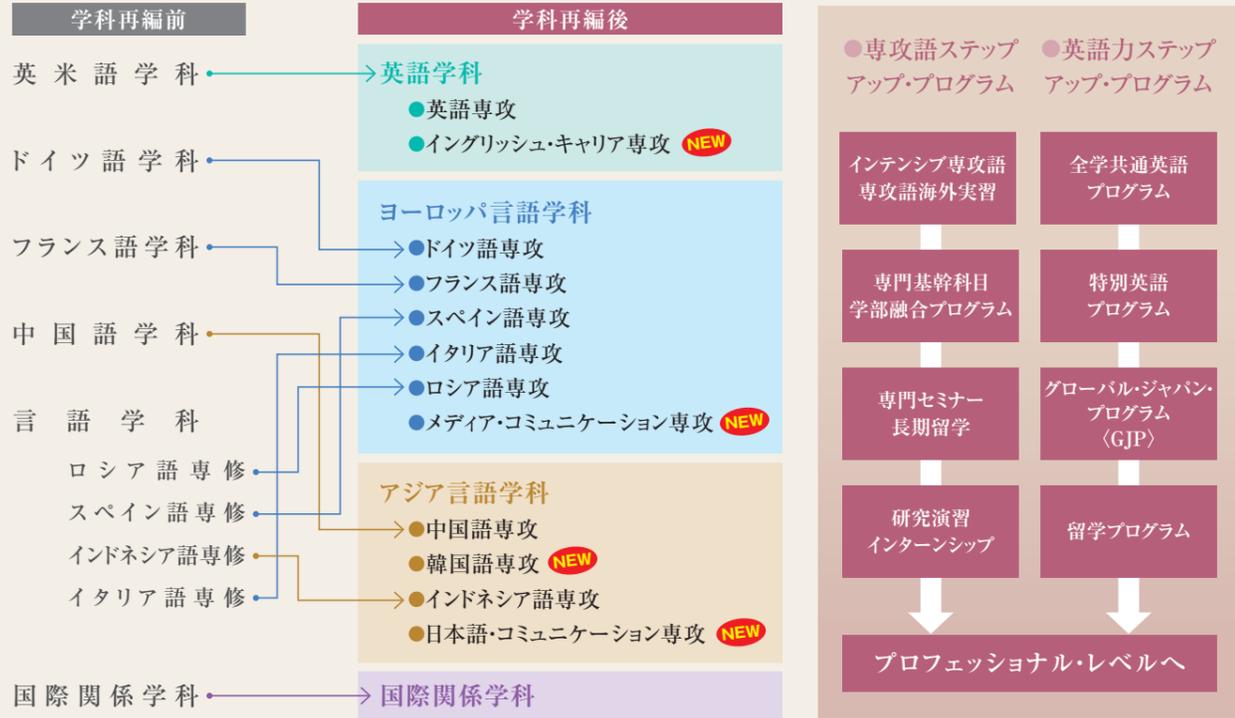
天地の関(せき)り時(とき)神(かみ)々の鎖(くわ)りませる
神山(こうさん)乃(な)り本山(ほんざん)に産(う)ぶ業(わざ)場(ば)実(じつ)勤(きん)はく
次(つぎ)の代(よ)のわが日(ひ)の本(もと)を擔(た)いて立(た)たむ
天(あま)の向(む)伏(ふ)す極(ごく)み岩(い)のさ(さ)へる極(ごく)み
有(あ)りし有(あ)る全(ぜん)人類(じんるい)の幸(さいわい)福(ふく)と平(へい)和(わ)の為(ため)に
わが命(いのち)を捧(たも)げて借(か)いぬ
現(げん)身の形(かたち)造(つく)りにわが心(こころ)願(ねが)む
鋼(こう)鉄(てつ)なす身(み)體(たい)と鍊(くわ)え黄金(おうごん)を平(へい)精神(しん)を磨(と)ぎ
新(あらた)珠(たま)の真(ま)理(り)と空(くう)の剛(ごう)健(けん)の意(い)気(き)高(たか)らかに
天(あま)翔(と)る希(まれ)世(よ)の志(こころ)抱(いだ)き
五大洲(ごたいしゅう)の津(つ)に雄(ゆう)飛(と)り行(い)く

2014年4月

外国語学部 学科再編

2014年4月から、学科を再編し、「英語学科」「ヨーロッパ言語学科」「アジア言語学科」「国際関係学科」の4学科体制となりました。本学部は、私立大学として最多の8専攻語を擁してき

ましたが、今回の学部学科再編では新たに韓国語と日本語を加えて10専攻語となり専門力が強化されます。同時に、確かな専攻語の運用能力だけでなく、グローバル社会で活躍するための幅広い専門教養を養います。



語学力の向上、専門力を深めるきっかけに外国語学部生全員が留学をめざす。

2014年4月

大学院 生命科学研究科(修士課程)開設

生命科学研究科は、総合生命科学部を基礎として、さらに既存の工学研究科生物工学専攻を発展的に改組する形で、2014年4月に開設しました。「生命科学に関する専門的知識と高度な技術を備え、生命科学関連の幅広い分野で活躍できる

人材の育成」を目的とし、発展的な教育と研究を展開します。そのため、カリキュラムでは学部の3学科(分野)の体系をコースとして保持しながらも、3つの分野を融合した1専攻体制とし、広い領域の高度な専門知識と研究能力の修得を目指します。

生命科学研究科の教育課程は、次の3つのコースから成ります

生命システム学コース

生物学の基礎的概念を、体系的なシステムととらえた研究

主に細胞や組織レベルにおける生体分子の機能を包括的に理解し、その統合システムとして生命をとらえる。また、疾病をシステムの破綻という観点でとらえ、その原因、治療法などを研究する。

生命資源環境学コース

ゲノムと地球環境を軸とする生命と環境のインターフェイスの研究

動物・植物を含めて、遺伝学、生態学、生物環境学などのマクロな視点から生命科学を解析する。さらに、育種や資源開発利用などの生命資源の活用戦略について研究する。

動物生命医科学コース

基礎生命科学の知識をもとにした、人と動物の生理と病態の研究

主に微生物やモデル生物など個体レベルを対象として、人獣共通感染症などの感染性疾患を解明し、生活環境の安全性、医薬品の開発などに関して研究する。

2015年4月

文化学部 京都文化学科 開設(設置申請中)

京都の地で、京都文化を学び、世界へ発信。

およそ1200年にわたる日本の文化が集積する国際都市・京都。2015年4月、京都産業大学は、文化学部へ京都文化学科を新設する予定です。本学科は、世界的視点から地域社会・地域文化に貢献する人材の育成をめざし、「京都文化コース」と「京都文化英語コミュニケーションコース」を設け、日本文化の核と

なる京都文化の追求とともに、英語による文化発信を行います。大学での学びと、京都を舞台とするフィールド・ワーク体験を通じて、京都文化の特質というべき「地域性」と「国際性」の両方を備えたグローバルな視点と実践力を身につけ、地域社会・地域文化の発展に主体的に取り組む人材の育成をめざします。



歴史学・文学・芸術学などを通して、京都文化を学ぶための高度な専門力と幅広い教養を養成。地の利を活かして和食、茶の湯、生け花など、世界が注目する京都文化・日本文化を探究し、世界の人々と積極的に交流できる人材を育成します。

京都文化・日本文化を深く理解し、その魅力を世界の人々に向けて英語で表現し、発信する力を身につけます。コミュニケーション力・プレゼンテーション力を多彩な英語カリキュラムにより養成します。

文化を軸に、グローバルかつ専門的な視点・知識・方法を持つてものごとを考えられるよう、これまでの地域別の4コース(日本文化、アジア文化、ヨーロッパ文化、アメリカ文化)から、分野別の3コース(歴史文化、思想文化、文学・芸術文化)に再編します。あらゆる側面から文化を学び、豊かな文化教養や異文化受容力、高い道徳意識とともに、柔軟な思考力・判断力を身につけ、オールラウンドに世界で活躍できる人材を育成します。

京都産業大学の教育システム



「むすびわざDNAプロジェクト」におけるトライアルアクション進捗状況

学生とともに考える未来型授業開発プロジェクトについて

未来型授業開発プロジェクトは、学生と教職員が中心となり学外の意見も巻き込みながら熱中できる質の高い授業を開発すること、また新しい教育モデルを産み出し学生が主体的な学びを育むことを目的としています。これまでの取り組みとしては、2013年6月21日に学生を交えた座談会を開催、「〇〇があるから大学に来ている」というお題でブレーストリングを行い意見交換を行っております。

さらに、座談会を発展させたワークショップを、8月7日(第1回)と10月17日(第2回)に開催しました。第1回目は、「〇〇

が△△する授業」をテーマに「学生自身が受けてみたい授業」という視点で「未来型授業」を意識し、自由な発想でアイデアを出し合いました。第2回目ではラーニングコモンズを会場に、2014年度開講科目を題材にして学生の身近な話題と関連付けることで科目に対する学生の理解を深めることができ、また積極的に議論をする姿勢が見られました。今後も、定期的にワークショップを開催し、学生から多様な意見を拾い上げながら、具体的に未来型授業開発を進めていくこととしています。

多読ラーニングプロジェクトについて

多読ラーニングプロジェクトは、基本データ(2013年7月に実施した読書アンケート(約3,000名))の分析、読書習慣を定着させる試みの一つとしてのビブリオバトルの開催、授業への日本語多読の組み込み等をテーマに、チーム間で意見交換を行っています。今回は前回に実施したビブリオバトルについて報告します。ビブリオバトルは、バトラー(プレゼンター)が人に勧めたいと思った面白い一冊を持ち寄り、本の魅力を紹介し合う書評ゲームです。すべての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員(聴衆含む)で行い、最多票を集めたものが「チャンプ本」となります。

今回は、学生12名の応募があり、予選会を経て、決勝では学生5名に教職員2名の計7名が持ち寄った本を紹介しました。投票の結果、経営学部3年次生の吉田拓矢さんが紹介した「絶望の国の幸福な若者たち:古市憲寿」が選ばれました。今後は、この取組を通じて、読書を楽しむ学生が増えることを願いつつ、学内のどこかで開催する方向で検討しています。



ミツバチプロジェクトについて

2013年10月19日、総合体育館横でミツバチプロジェクト・採蜜イベントを開催しました。今回のイベントは、光源寺 岳さん(経済・2年次)をリーダーとする12人の学生養蜂活動チームが、7月以来集めてきた養蜂の成果として実施したもので、学生、教職員約50名の参加がありました。当日は、山岸博副学長(ミツバチプロジェクトリーダー)の挨拶、野村哲郎ミツバチ産業科学研究センター長から学生による養蜂活動やハチミツの効能等の説明の後、採蜜を開始しました。実際の採蜜は、活動チームの学生が巣板から蜜蝋を切除し、巣板を手動式の遠心分離機にかける方法を説明しながら行われ、ハチミツが採取されると、参加者から大きな歓声が上がりました。今回採取したハチミツの一部は、サガリウスチャレンジに採択された本学学生が井手町の地域発展に貢献しようとする活動にも使用され、養蜂活動が本学の社会貢献活動の一つとして発展することに大きな期待が寄せられています。



いよいよ2015年、 創立50周年を迎えます。

これもひとえにご関係の皆様からのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。
この創立50周年を迎えるにあたり、本法人では記念事業を掲げ、皆様にご寄付をお願いさせていただいております。

新たな給付奨学金制度の創設

- 時代のニーズに即した「グローバル人材支援奨学金」
- “オール京都産業大学”づくりに向けての「荒木俊馬奨学金」

卒業生顕彰制度の創設

- 「スポーツ活動を通じて本学の名声を高めた卒業生」「文化活動、学術活動を通じて本学の名声を高めた卒業生」
- 「東証一部上場企業級の経営者である卒業生」を顕彰する制度

〈寄付者の方への顕彰〉

ご寄付を賜りました皆様方のご芳志に感謝し、芳名録を作成いたします。また、個人・企業等からの一定額以上のご厚志に対しましては、銘板に刻銘し末永く顕彰させていただきます。詳細につきましては、下記の本学ホームページをご覧ください。

京都産業大学50周年記念事業募金にご協力を!

学校法人京都産業大学創立50周年記念事業募金にご理解とご賛同を賜り、
寄付にご協力の程、よろしく願い申し上げます。

募集期間 : 2016(平成28)年3月末日まで

募金額 : 個人一口 1万円 企業一口 10万円

ご協力いただける場合は、お電話、Faxもしくはホームページによりお受けいたします。

折り返し、払込取扱票等をお送りいたします。

お問い合わせ

京都産業大学 経理部 募金担当 Tel.075-705-1415 Fax.075-705-1412
E-mail:bokin-50@star.kyoto-su.ac.jp ホームページ:http://www.kyoto-su.ac.jp/50th/bokin/



ご自宅から手軽にお申し込みできるインターネットでのクレジットカード決済もございます。
http://www.kyoto-su.ac.jp/50th/bokin/credit.html

ご注意: 学校法人京都産業大学創立50周年記念事業募金では、次のような勧誘は行っておりませんので、ご注意ください。

- 1.E-mailから募金を案内するWebサイトへ直接誘導(リンク)する勧誘
- 2.本法人から直接の電話による勧誘



サギタリウスNOW



series 03 中央図書館

1965年の開学以来約20年間、図書館は6図書室と1中央事務室からなる分散方式によって運営されていました。現在の中央図書館は1987年に開館し、資料とサービスの集中により飛躍的に機能が向上しました。



中央図書館は、本学の教育・研究活動の核として、資源共有の理念のもとに、国内外との学術情報ネットワークを形成し、大学の心臓部として広い教養と専門的知識を修得するために欠くことのできない施設です。新刊書を中心とする約20万冊の基本図書、教養書、参考図書などを開架に、研究用資料を中心とする約80万冊を閉架に配し、利用者の目的に応じて、閲覧、貸出、複写、レファレンスなどの図書館サービスを行っています。また、ビデオ、CD、DVDなども収集し、質量ともに充実した学習図書館として機能を果たしています。



書庫棟外観

2013年には自動書庫が完成しました。この自動書庫は、図書館の資料の内、図書館外の書庫に分散されて配架されていた資料を一元的に集約し、関西圏の大学図書館では最大級になる80万冊（※図書の厚さ1冊3cm換算40冊／コンテナ）の資料が収容可能となります。利用者が蔵書検索し、自動書庫に収納している資料を自動的に配送することにより、利用者へ迅速に提供することが可能となりました。また日本初の地上・地下2層構造が注目され、多数の見学者が来館しています。



自動書庫スタッカークレーン



スロープ

さらに図書館では、バリアフリー設備を充実させました。図書館外側と正面玄関から1階に向けてのスロープや館内エレベーターを設置いたしました。車いすの方でも図書館内で自由に移動できるようになり、正面エレベーターは音声案内により目の不自由な方もご利用いただけるなど、すべての利用者の方へのサービス向上に取り組んでいます。



正面エレベーター

50th Anniversary ③

キャンパスの今昔

開学—30周年—現在

大学紛争の嵐が吹き荒れ、世情が騒然とした雰囲気醸し出していた1965(昭和40)年、創設者荒木俊馬先生が掲げた「建学の精神」のもと、京都産業大学は上賀茂の地に創設されました。昭和から平成に移行したこの頃、中央図書館に続き神山ホールが完成し、あらたな大学の知の玄関口となりました。来る2015(平成27)年の「創設50周年」に向けて、発展し続けたキャンパスの今昔を眺望ください。



開学当時



開学時本館・学生休憩室



建設中の総合体育館・課外活動棟
神山コロシアム(野外ステージ)



開学30周年

現在



神山祭レポート



- 第48回「神山祭」は、2013年11月2日から4日までの3日間、「キョウイチ」をテーマに開催されました。
なお、前夜祭が11月1日に世界文化遺産に登録されている「賀茂別雷神社(上賀茂神社)」で、「地域の方々と共に創る学園祭」を目指す初めての試みとして、学生・上賀茂神社・地域住民が協力して開催されました。
- 神山祭期間中に本学同窓会主催の「ホームカミングデー」、11月3日には、本学主催の「第8期生の集い」が行われ、数多くの卒業生が参加されました。
- 第49回の開催準備も既に進んでおり、母校を懐かしむ場として、引き続き「神山祭」にご期待ください。

第48回 テーマ 「キョウイチ」



写真で振り返る 懐かしの神山祭



第1回神山祭

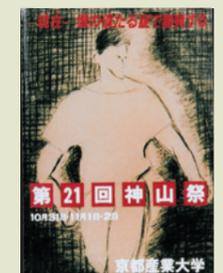


第2回神山祭



往年のパフレット

※「」内は各年のテーマ



第21回(1986年)パンフレット
「—現在—
僕の僕たる証で勝負する」



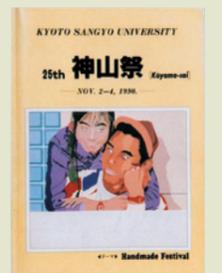
第22回(1987年)パンフレット
「足元を掘り下げる!
何が見える?」



第23回(1988年)パンフレット
「今、君の+1が欲しい…」



第24回(1989年)パンフレット
「新しきリンゴの実がおちる
神山祭」



第25回(1990年)パンフレット
「Handmade Festival」



第26回(1991年)パンフレット
「神山発 各駅停車
未来行」



第27回(1992年)パンフレット
「フェスティバルズ・ハイ」



第28回(1993年)パンフレット
「みるでるつくる」



第29回(1994年)パンフレット
「Shining Heart
～心輝かせて～」



第30回(1995年)パンフレット
「Everybody's Festival
～みんなの山祭～」

京都産業大学同期会を開催 (第8期生<昭和47年入学)の集い)

同期会:本学ではこれまで還暦等を迎えられる2006年第1期卒業生(昭和40年入学)から毎年、同期会を開催しています。本学に入学、学生生活を経て卒業、その後、社会人としてあらゆる分野でご活躍されてこられた方が、還暦・定年等を迎えられる転機に、社会人への出発点(原点)であった母校京都産業大学にお迎えし、お祝いするとともに、新たな人生の出発にエールを送るため、京都産業大学同期会を開催しています。

2013年11月3日、本学神山ホール等で開催した京都産業大学同期会「第8期生の集い」は、昭和47年に入学しその後卒業された方に案内をしたところ、全国から185名の出席者がありました。毎年のごとくが久しぶりの母校の訪問と仲間との再会に、参加者の方は楽しまれ、今も大学の一員としての帰属意識を高めていただきました。

参加者からは、「参加できて本当に良かった。京都産業大学を卒業したことを誇りに思います」、「50周年を期待しています」などの多くのメッセージをいただきました。



第8期生の集い(2013.11.3)

京都産業大学主催同期会 「第9期生の集い」の開催案内

日 時:平成26年11月2日(日)
※神山祭は11月1日～3日まで開催。
11:00～ 式典
12:00～ 懇親会
14:00 終了

対象者:昭和48(1973)年4月入学後、卒業された方。

※当日は、記念品贈呈、全学応援団演奏、グリークラブOB会合唱等お楽しみいただける企画を盛りだくさん予定しています。
※詳しくは、8月頃に該当者に対して大学から案内文を発送します。

ホームカミングデーにご来場ありがとうございました

京都産業大学同窓会が2013年11月2日～4日の神山祭期間中に開催した、第28回ホームカミングデーにご来場いただきまして、ありがとうございました。

3日間の期間中に、卒業生、ご家族・ご友人等合わせて、897名の方にお越しいただきました。また、7つの同窓会支部の皆様も多数お越しいただき、会場となった本学並築館4階の食堂は、終始卒業生らの会話と笑顔に溢れていました。

在学時とすっかり変わった大学の景色や、新校舎の工事の様子など、大学の変わりように驚かれた方も多かったのではないのでしょうか。

今年も、神山祭期間中にホームカミングデーの開催を予定しておりますので、多数の卒業生のご来場をお待ちいたしております。



Campus Flash

京都産業大学ニュース

平成25年度 卒業式 挙行

●2014年3月22日、23日、神山ホールにて、平成25年度卒業式(学位授与式)が挙行されました。今年度は、学部生2,764人、大学院生74人に学位が授与され、それぞれの道へ進んでいきます。



平成26年度 入学式 挙行

●2014年4月1日、2日、神山ホールにて、平成26年度の入学式が行われ、学部生3,061人、大学院生84人が新生活の第一歩を踏み出しました。



体育会ニュース

硬式野球部 第62回全日本大学野球選手権大会出場

2013年5月、関西六大学野球春季リーグ戦で優勝し、6月に出場した全日本選手権大会では、500人におよぶ応援団の声援のなか、終盤同点に追いつくも延長戦の末惜しくも敗退しました。またリーグ通算30勝を挙げた岩橋投手が、東京ヤクルトスワローズに入団しました。

ラグビー部 第50回全国大学ラグビーフットボール選手権出場

2013年12月、中央大学に劇的勝利をあげましたが、2戦目の早稲田大学に惜敗しセカンドステージ敗退が決定しました。第3戦は大阪体育大学との激しい攻防の中、勝利を収めました。

陸上競技部 第75回関西学生対校駅伝競走大会(男子) (丹後大学駅伝)で見事、4連覇達成

2013年11月3日の全日本大学駅伝(伊勢駅伝)を14位で終え、同月24日、今回から丹後半島開催となった関西学生対校駅伝で見事4連覇を飾りました。

陸上競技部 第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(杜の都駅伝)出場

2013年10月27日、宮城県仙台市で、大学女子駅伝の日本一を決める「第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会」が開催されました。本学は目標としていたシード権獲得はなりませんでした。奮闘し13位でゴールしました。

本学創設者 荒木俊馬が 熊本県近代文化功労者の 顕彰を受けました!

●平成25年度熊本県近代文化功労者顕彰式が2013年11月9日(土)、ホテル熊本テルサで行われ、本学創設者で、宇宙物理学者の荒木俊馬をはじめとする3人*が顕彰されました。

*【学術】故、荒木俊馬:宇宙物理学者として研究と人材育成に貢献し、京都産業大学を創設した。(山鹿市出身)
【政治】故、安場保和氏:明治時代の官僚・政治家で熊本への鉄道敷設にも尽くした。(熊本市出身)
【文化一般】チェスキーナ・永江洋子氏:イタリア在住のハープ奏者で音楽家への支援活動を続けている。(玉東町出身)



(熊本県近代文化功労者顕彰)

熊本県出身者又は在住者で、近代文化の発展に貢献し、その功績が顕著である方を熊本県近代文化功労者として顕彰するもので、これまでに北里柴三郎、夏目漱石、小泉八雲など280名が受彰しています。

学祖 荒木俊馬の生誕地に 記念碑を建立

●本学では、来年の創立50周年を記念して、学祖・荒木俊馬の出身地である山鹿市鹿本町来民(かもとちょう きたみ)に二つの記念碑を建立し、2014年2月22日(土)、現地で除幕式及び松本零士・本学客員教授による記念講演会、祝賀会を開催しました。



新施設が完成しました

万有館 Banyukan

10号館と1号館の間

(命名の由来)

学祖荒木俊馬先生の「開学挨拶」の「天地人万有、即ち人文・社会・自然全般に互り真理を探究して正しい知識を身に着ける」に基づいて命名しました。理学部の研究室・教室や入学センターなどがあります。



雄飛館 Yuhikan

2号館と3号館の間
ピロティ

(命名の由来)

学祖荒木俊馬先生の作詞された「学歌」の「天翔る 希望抱きて 五大洲七つの洋に 雄飛し行かむ」に基づいて命名しました。ラーニングcommonsや書店、クラブボックスがあります。



並楽館 Heirakukan

(命名の由来)

学祖荒木俊馬先生による「上夜久野村公民館」・「大学旧保養施設」の名称にちなみ、その出典である「礼記」儒行篇の「普通同術 並(並)立則楽(友人と互いに学芸に励み、ともに社会を担って立つ人となることは喜びである)」に基づいて命名しました。



食堂・売店等のある 福利厚生棟 (旧8号館)

これまで大学の校舎をはじめとする建物は、基本的に番号を付し、○○号館と称してきましたが、今般の(仮称)新1号館および(仮称)新7号館の建物から、本学建学の精神を具現化する本学固有のフレーズを付すこととしました。またこの機に8号館の建物名称も併せて決定いたしました。



庭師 きたやま やすお
北山 安夫さん
1971年 経済学部卒業
第3期生

(プロフィール) 1968年、私立平安高校から硬式野球での活躍をめざして京都産業大学経済学部に入學。卒業と同時に家業(庭園資材舗)の関係から小宮山博康氏に師事し、4年後に独立。代表作庭として高台寺、建仁寺、東福寺等の本坊、久保田一竹美術館や愛知万博日本庭園石組などの作庭事例がある。また、南アフリカ、サウジアラビア、フィレンツェ等、海外でも多くの庭を手掛ける。

2013年7月から〈本学キャンパス景観総合プロデューサー〉に就任

26歳での独立はかなり早いのでは……
小宮山庭園創作所の故・小宮山博康先生に師事した4年間はハードで、最初の2年間は正月

「もっと勉強しておけば……」と今になって思うくらい野球漬けの毎日。我々が京都産大硬式野球部の伝統や歴史を作る礎(いしずえ)になるのだという思いで4年間を過ごしました。但し私はケガや故障に泣かされ、3年次生の1年間は野球ができなかった等々、ピッチャーとしては12勝したものの、選手としては燃焼し尽くせませんでした。

どのようにして庭師の道へ?

選手として誘われたり、高校の監督にも招かれ指導者として甲子園をめざすことは、選手として燃焼できなかっただけに魅力的でした。しかし、私は中学2年生の時に父を亡くしており、生前父の庭作り(庭園資材舗)を子供の頃から見ていて、自分の感性と努力で庭園を作りあげていくことに魅力を感じていました。それで「庭作りならいつか日本一になれるかも?」と思いつき、この世界に飛び込むことにしました。

庭師として「愛・地球博」の日本庭園づくりを支えた先輩は、「我(が)を抑えて我(われ)を発揮する」という自身の手法をビジネスにも通じる極意と語る。

「北山安夫の感性夢」の可能性に賭けてくれた人々のおかげであり、感謝の念は尽きません。

数々の作庭をしてこられたのですね

庭作りは人間性が問われます。それは「もう手を入れたい」という最後の決断や、「もう少し手を入れよう」と進む勇気など、作庭の要諦が誰にも頼れない。自分の世界、そのものだからです。高台寺やその塔頭である圓徳院の修復にはじまり、久保田一竹美術館、愛知万博日本庭園石組、建仁寺や東福寺の本坊の作庭なども同様でした。もちろん、それらは「北山安夫の感性夢」の可能性に賭けてくれた人々のおかげであり、感謝の念は尽きません。

「愛・地球博」の日本庭園では、長久手会場「森林体験ゾーン」の日本庭園に総数4500トンもの石組と茶庭を作りました。その手法は先人が古来から培ってきた知恵と業わざ、思いやりの心を活かしたもの。そこに住む鳥や生物の生態系を壊さないことに努めました。そのためセメントは一切使わない石組によつて石を据え、石積みもから積みとしました。池や流れも粘土で止めています。しかし、それら古来の手法は想像以上に大変な作業であり、「万博の日本庭園の良し悪しが自分の肩にかかっていること」や「開期までにできあがらなかつたら……」というプレッシャーは4500トンの石より重いものでした。でもそれだけに、最終的には素晴らしい充実感を味わわせてもらえました。

数日前に南アフリカから帰国され再び数日後にイタリアへ出発されるとか

南アフリカでは、ヨハネスバークにある個人の庭園の一部を日本庭園に作りかえています。海外での作庭は文化接点を見つけて調和させることが一番大切。自分を主張するのではなく、その国の文化を大いに取り入れたものにしたと常々思っています。その一例が同庭園に作ったお茶室。二畳台目で日本式に作っていますが、屋根と壁は南アフリカ様式です。イタリアへは、京都市とフィレンツェの友好姉妹都市35周年記念事業として作った庭のメンテナンスに行きます。庭の美しさはその土地の光や風、空気が織り込まれていく。そこに立つ人々の美意識もその土地の風土に培われたものであり、日本人と異なることも配慮しなければ、本場の意味での庭園とはなりません。自然や人々との調和こそ肝要な作庭は「我(が)を抑えて我(われ)を発揮する」仕事。



北山さんが修復された高台寺の名勝庭園。仕事に着手された10数年前は樹木や下草が伸び放題の「森のような状態だった」とのこと。取材は観光客が途絶えた拝観時間の終了後、修復されたご本人に案内いただくという、とても贅沢なひと時でした。

ではその後、後輩諸君へさらなるメッセージをお願いします。自然との共同作業である作庭には、予想もコントロールもできない状況に陥ることが多々。あの頃の京都産大には、いろんな意味での「暴風雨」が吹き荒れていた(笑)。心身共に厳しく鍛えられたことが、今の私の精神的な礎(いしずえ)となつていきます。開学50周年を迎える母校では、そういう暴風雨にさらされる機会は少ないだろうけど、自ら荒天をおこすほどの気概をもち、私が4年間で培った「なにがあっても、めげないスピリット」を皆さんにも身につけてほしい。我々の世界では、「庭作りは人づくり」といいます。庭を作っても管理をしていく人がいなければ、どんなに素晴らしい庭も腐れていきます。ですから自分の意志を引継いでいく人物を育てていくことが大事なのです。また相手や物の気持ちも組み合わせることも大事です。また相手や物の気持ちも組み合わせることも大事です。また相手や物の気持ちも組み合わせることも大事です。

同窓会支部の紹介

同窓会の支部は、1972年5月の関東支部の設立を機に、現在、国内35支部、海外2支部、50B会が設立され、約13万4千名に及ぶ卒業生が全国各地域で結束し、同窓生の交流の場として支部活動が行われ、会員相互の親睦のみならず、本学課外活動クラブの応援等を通じて大学への支援等が行われています。

最近の新支部としては、2013年5月に秋田県支部、7月に沖縄県支部、9月に長野県支部、10月に宮城県支部、2014年5月17日に舞鶴OB会、2014年1月には海外で2番目となる台北支部が相次いで設立されましたが、まだ支部が発足していない県もあり、全国から集う大学として支部設立の拡充に向けて努力しているところです。

- 〈支部名〉北海道・関東・秋田・宮城・新潟・富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄・中国上海・台北
- 〈OB会名〉丹後・大江・京都市・小豆島・舞鶴



支部設立総会(舞鶴OB会)

同窓会館のご案内

会員相互の交流の場として同窓会館を設置しています。クラブやゼミ、サークル等のOB・OG会、研修会、親睦会等に無料でご利用いただけます。飲食物の持ち込みも可能です。また、ロビーにはパソコンを設置しWi-Fi環境も整えています。上賀茂神社すぐそばに位置し、アクセス抜群の同窓会館を卒業生の集う場としてご活用ください。

〒603-8076 京都市北区上賀茂山本町37 京都産業大学同窓会館
※休館日(休館日でも事前申込みによるご利用は可能です。)
1. 火曜日(ただし祝日は開館) 2. 夏期休業日(8/10~8/19) 3. 年末年始(12/28~1/6)
電話: 075-701-8407 Eメール: ksu-doso@wine.ocn.ne.jp



生涯学習 むすびわざ講座の紹介

卒業生・一般を問わず、文化・歴史・社会・科学など幅広いテーマで学べる生涯学習講座を開講しています。

- ◎詳細はホームページをご覧ください。 <https://www.kyoto-su.ac.jp/project/area/>
- ◎ご希望の方にはパンフレットをお送りします。お電話・メールでお問い合わせください。

公開コース
無料・申込不要

文系や理系の幅広いテーマについてわかりやすく解説します。

教養コース
無料・要事前申込

1つのテーマについて、全4回行われる講座で深く学びます。

異文化交流コース
無料・申込不要

本学の留学生が講師となり、自国の文化・習慣などの身近なテーマについてお話しします。

スポーツコース
受講料あり・要事前申込

馬術・ジョギング・卓球・バドミントンなど人気のコースです。運動する楽しさを体験してください。

お問い合わせ

京都産業大学 連携推進室

Tel.075-705-2952 Fax.075-705-1960
E-mail: renkei-suishin-jim@star.kyoto-su.ac.jp